

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 11 月 2 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【横浜市立大学での駐日フランス大使による講演の様子】

「世界食料デー」月間2017 キックオフシンポジウムin横浜が開催されました

10月1日にはまぎんホールにて『「世界食料デー」月間2017キックオフシンポジウムin横浜』が本市資源循環局と「世界食料デー」月間の共催で行われました。



横浜市国際局が支援している国際機関FAOやWFP、またYOKEなどが賛同した本シンポジウムでは、『考えよう！「食べること」「捨てること」～いま私たちにできることは？～』をテーマに、飢餓、貧困、食品ロスなどに取り組む、NGOやNPO、企業などが集まり、本市からは尾仲資源循環局長が出席しました。

事例紹介やパネルディスカッションを通じて、世界中の人みんなが安心して十分に食べていけるように、食べ物をムダに捨てることをなくすようにするための活動や取組を、さまざまな視点からご紹介しました。

在日米国商工会議所主催のビジネスサミットに林市長が登壇しました

10月17日、在日米国商工会議所(ACCJ)主催の2017東京ウィメン・イン・ビジネスサミットで林市長が基調講演を行いました。



サミットには、企業のCEOなど、女性の活躍をリードする産学の代表者によるプレゼンテーションやディスカッションが行われ、会場は約650名の参加者で埋め尽くされました。



基調講演で林市長は理念だけでなくベストプラクティスを生み出し共有することの重要性と共に、横浜市での女性活躍の取組を事例に、熱意を持ち、魂に訴え続けることの重要性を説き、参加者へエールを送りました。

ローラン・ピック駐日フランス大使が横浜市立大学で講演しました

横浜市立大学は、10月16日にローラン・ピック駐日フランス大使をお招きして、今年5月フランスの新大統領に就任したマクロン大統領のEU政策について英語で講演して頂きました。



歴史的にも日本と密接で深い関係を築き上げてきたフランス、またその周辺の欧州地域やEUに対する政策は、横浜市立大学の学生にとっても関心の高いテーマであり、学生と大使との英語による活発な意見交換が行われました。

